

京の子どもへ夢大使派遣事業

- 目的 ① 学術や文化等さまざまな分野の人材を輩出してきた京都の地域力を学校教育に積極的に活用
 ② 子どもに夢と感動を与え、興味・学習意欲を呼び起こすことのできる京都にゆかりのある人材(夢大使)を学校に派遣し、明日を担う子どもに豊かな心と大きな志を育む。

「心のせんせい派遣事業」

感動する心、頑張るエネルギー、おもいやる心等の大切さを、

夢大使の体験談等から育む

[夢大使の例]
 哲学者、伝統芸能継承者
 五輪メダリスト、音楽家 等



「科学探偵士派遣事業」

探求することの楽しさ、考えることの大切さを、夢大使の実験や講義を通して身に付ける



[夢大使の例]
 大学教授
 科学者、技術者 等

事業の概要

- ① 4つの分野ごとに、個々の小中学校では招くことが困難なトップレベルの人材を希望校に派遣
- ② 派遣校の選定に当たっては、夢大使の派遣と長期的な学習計画との提携により、より効果的な学習成果を引き出せる学校を選定

「ITの達人派遣事業」

ITを活用した学習活動を通じ、新たな可能性や情報モラルの大切さ等を学ぶ

[夢大使の例]
 大学教授、ITコミュニケーション専門家 等



「言葉の達人派遣事業」

「言葉」の持つ意味や魅力に触れ、「言葉」に対する興味・関心・意欲の向上を図る

[夢大使の例]
 アナウンサー
 俳優 新聞記者 等

